

平成15年4月9日

各位

日本農産工業株式会社

・横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号

・コード番号 2051

・上場取引所 東証・大証・名証 各一部

・決算期 3月

・問い合わせ先 経営企画室長 小林 重紀

TEL (045) 224-3717

DNA 免疫による抗体作製でジェバック社、  
哺乳細胞によるワクチンの生産で4Cバイオテック社と提携

日本農産工業株式会社はドイツのジェバック社(Genovac A.G. ドイツ・Freiburg 市)と提携し、DNA 免疫による抗体生産の受託サービス事業を開始致します。ジェバック社は1999年に設立された従業員25人の若いベンチャー会社です。抗原を必要とせずに、DNA 免疫により高品質の抗体を、独自のスクリーニングシステムを用いて作製する技術を持っています。

ジェバック社の技術では、抗原の確保及び精製工程を必要としないので、期間の短縮と低コストでの作製が可能となり、様々なワクチンに対する抗体生産や臨床用抗体の開発、生産等に需要が見込まれ、診断薬、治療薬への用途拡大が期待されます。当社が日本の製薬会社や研究機関から受注し、ジェバック社が抗体を作製する形態の受託サービスとなります。

また同時に、ベルギーの4Cバイオテック社(4C Biotech S.A. ベルギー・Senefte 市)と提携し、哺乳細胞を使ったワクチン生産受託サービスを開始致します。4Cバイオテック社は哺乳細胞によるワクチン発現と独自のオペレーション技術による効率的なワクチン生産に定評があり、欧州ではトップクラスの評価を得ています。ジェバック社のケースと同様に、当社が日本国内で受注し、4Cバイオテック社が生産を行う形態の受託サービスです。

当社は、昆虫細胞を使ったワクチン発現受託サービスを当社バイオ研究所にて行ってきております。今回新たに、ジェバック社及び4Cバイオテック社との提携による哺乳細胞での発現が加わったことで、ワクチン発現受託及び抗体生産サービスが拡充され、日本の製薬会社及び研究機関に対し独創性のあるサービスを提供し、バイオビジネスの強化を図ります。3年後にはこれらのワクチン発現分野で5億円の売上を目指します。

以上